

## 【研究課題】

### 血液中 miRNA 測定による消化器癌の診断法確立に向けた研究

## 【研究背景と意義】

癌は予後不良な難治性疾患のひとつであり、日本人の死因の第1位に位置しているのが現状です。膵癌は5年生存率が8%程度と最も予後不良な難治性癌のひとつであり、胆道癌および肝癌も5年生存率が30%前後と予後不良です。これらの癌は日本人の癌死因の第4位から第6位に位置しています。癌の治療成績の向上には早期発見が必要不可欠ですが、体の負担が少ない検査法があまりないのが現状であり、血液検査のような簡便な検査方法によって癌を早期発見するためのバイオマーカーを同定することが重要と考えられます。

最近の研究により、癌に罹患すると血液中の miRNA（マイクロRNA）の種類や量が変化することが分かってきています。私たちは、消化器癌の患者様の血液中に存在する miRNA を調べることで新しい検査法を開発し、早期診断によって治療成績を向上させることができるのではないかと考えています。

そこで今回、消化器癌の患者さんを対象に血液中 miRNA の分析を行い、非癌研究対象者との比較を行うことで、新たなバイオマーカーを探索し、その有用性を検討したいと考えました。

## 【研究対象】

20歳以上の日本人のうち、下記1)-3)のいずれかを満たす方

- 1) 膵癌・胆道癌・肝癌の方
- 2) 膵腫瘍や膵炎が疑われる方
- 3) 胆道疾患及びその他良性疾患（総胆管結石等）が疑われる方

## 【研究目的・方法】

血液中の miRNA を測定することによって膵癌、胆道癌、肝癌の発症を早期に診断するためのマーカーを同定することを目的とし、本研究により、既存の診断手法よりも精度良く早期に膵癌、胆道癌、肝癌を診断する手法の確立に繋がることを期待される。

## 【研究期間】

許可日～2024年8月31日

## 【研究に用いる資料・情報の種類】

病歴、治療歴、年齢、性別、身長、体重、生活歴（喫煙・飲酒）、家族歴等  
資料：血液 9ml

【個人情報の保護と予想される利益・不利益】

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。この研究へ参加することで対象者ご自身が得る利益は特にありません。血液を採取するのみですので、基本的には不利益は起こり得ません。また、あなたがこの研究に同意した後でも、その同意をいつでも撤回できます。

【お問い合わせ先】

●研究代表者：

京都大学大学院医学研究科消化器内科

講師 福田晃久

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

TEL：075-751-4319 FAX：075-751-4303

●当院における問い合わせ先：

兵庫県立尼崎総合医療センター消化器内科 山内雄揮

〒660-8550 尼崎市東難波町 2-17-77

TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001